

## IIS NEWS

## ☆星合教授最終講義☆

今春停年退官予定の星合正治教授（本所第3部）の工学部における最終講義が2月16日午前10時から2時間にわたって行なわれた。「本邦今日の社会情勢と技術者の覚悟一転期に立つ日本の工業」と題されて、電子工学を生き育てられた40年の経過から日本の現状、技術の水準に及び、今後の道として持論の計測立国論をもって結ばれた。副々題として「一停年教授の捨台詞」とあったが、なかなかそのようなものでなく、広い工学部第3号講義室を満した職員、学生にとってまことに感銘深い置土産であった。

## ☆講 演☆

- ◇助教授 黒川兼行、助教授 浜崎裏二「パラメトリック増幅器の縦続接続」：電気通信学会マイクロ波伝送研究専門委員会（1959. 1. 20）
- ◇教授 永井芳男、技術研究生 原千佐代「ジフェニルアントラセンの合成」：日本学術振興会第116委員会（1959. 1. 27）
- ◇教授 永井芳男、技官 田辺正士、技術研究生 古新居祥「トルエンとクロルシアンとの反応」：同上（同上）

- ◇教授 永井芳男、技官 田辺正士、技術研究生 富沢秀夫「1,4-ジアミノ・アントラキノンのアルキル化」：同上（同上）
- ◇教授 永井芳男、技官 田辺正士、技術研究生 小幡俊雄「ジクロル・アントラジンキノンのスルホン化」：同上（同上）
- ◇教授 金森九郎「最近の鉄鋼情勢」：東京大学、学生講演（1959. 1. 31）

## ☆寄 稿☆

- ◇教授 竹中規雄、内地研究員 広野雅道（静岡大学工学部）「切削剤の切削機構に及ぼす影響」：精機学会誌，25, 1, 14~20（1959. 1）
- ◇教授 永井芳男、助手 後藤信行「4-クロールナフタル-N-メチールイミッドとベンゾアントロンとのナトリウムアルコラートによる縮合」：工業化学雑誌，61, P1271（1958）

## ☆海外渡航☆

野崎 弘 助教授（第4部）は、今年ベルギーリエージュで開催される（1959年9月14~19日）国際写真科学会議に Photographic Sensitivity に関する論説を提出したが、2月3日同会議に出席、講演すべく要請をうけた。

## IIS NEWS

## 筆 者 紹 介

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| ◇李 海 洙 研究生 専攻 放射線工学          | ◇橋 藤 雄 教授 工博 専攻 伝熱工学          |
| ◇一色 貞文 教授 工博 専攻 応用X線工学       | ◇森 下 輝 夫 技術研究生（運輸技研所員）専攻 機械工学 |
| ◇星 野 昌 一 教授 工博 専攻 建築装備学      | ◇岡 本 舜 三 教授 工博 専攻 構造力学        |
| ◇妹 尾 学 助手（特別研究員）理博 専攻 無機工業化学 | ◇久 保 慶 三 郎 助教授 専攻 土木構造学       |
| ◇平 尾 収 教授 工博 専攻 内燃機関学・自動車工学  | ◇佐 藤 吉 彦 大学院学生 専攻 構造力学・耐衝構造   |
| ◇小 高 庄 二 技官 専攻 同上            |                               |

## 出版委員

出版委員長 渡 辺 要	委 員 高 橋 幸 伯	委 員 永 井 芳 男	専門委員 星 野 昌 一
委 員 富 永 五 郎	* 森 政 弘	* 西 川 精 一	齋 藤 成 文
渡 辺 勝	尾 上 守 夫	関 野 克	編 集 室 下 村 潤 二 朗
鈴 木 弘	黒 川 兼 行	久 保 慶 三 郎	水 野 晴 明
	福 田 義 民		* 印 当 番 委 員

第11巻 第2号

生 産 研 究

（本誌は生産技術研究所の研究組  
介誌として、毎月1回発行する）

1959年2月1日 発行

頒価 60 円

編集者  
発行者渡 辺 要  
福 田 武 雄印刷所  
発行所三美印刷株式会社  
東京都千代田区神田多町2の7  
東京大学生産技術研究所  
千葉県千葉市弥生町1  
電話千葉(2)0261(代表)